

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------------------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス・児童発達支援HIKARIE 1st 2nd | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 8日 | | 2026年 2月 14日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 50名 | (回答者数) 39名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 17日 | | 2026年 1月 23日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 13名 | (回答者数) 13名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 9日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | お子様の年齢や実態に応じてグループ分けを行っており、一人ひとりの課題に合わせた学習や活動に取り組むことができる。 | お子様の実態や成長に応じてグループ編成を行い、それぞれに合った活動をしている。グループ分けを工夫することで、教科学習や日常生活支援に加え、ソーシャルスキルトレーニング、体幹づくり、ビジネスマナーの理解など、実態に応じた活動を計画、実施している。 | 学校や家庭と連携しながら、お子様の実態や課題について情報共有を行い、支援を進めていく。また、指導員の専門性向上のため、教材研究や障がい理解などに関する研修等にも取り組んでいく。 |
| 2 | 日々の活動内容やお子様の様子について、アプリを活用して保護者へ分かりやすくお伝えすることができる。また、保護者と事業所間での連絡事項や情報共有も円滑に進めることができる。 | 日々の活動の様子を写真や動画を用いてアプリでお知らせすることで、保護者の方に事業所でのお子様の様子を、より身近に感じて頂けるようにしている。また、スケジュールや連絡事項もアプリで管理し、確実に周知することを心がけている。 | 一人一人のお子様の課題や保護者の方のニーズに応じて、日頃の様子をより丁寧にお伝えしていく。また、事業所での取り組みを家庭でも継続していただけるよう、連絡帳や懇談等を通して、共有していく。 |
| 3 | 特別支援教育や小中学校の教員、保育士、心理士、理学療法士など、多職種の見点から意見が出るため、幅広い活動内容を実施することができる。 | 活動の目的を明確にした上で、内容を計画している。職員間で目標意識を共有し、それぞれの専門性を活かしながら、一人ひとりのお子様の課題や目標を検討し、共通理解を図った上で計画、実行している。 | 他グループの活動を参考にしたり、会議で意見やアイデアを出し合ったりしながら、よりよい支援につなげていく。それぞれの専門性を活かしながら、幅広い活動を計画、実施していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|------------------------------------|
| 1 | 地域の子どもたちと交流、活動する機会について。 | 実態に応じて、地域の行事へ参加し、交流する機会を設けることができた。一方で、グループによっては、事業所内での仲間同士のかかわりを優先しているため、地域の子どもたちとの交流機会が少なかった。 | 今後は、機会があればグループごとに交流の機会を計画したいと思います。 |
| 2 | 保護者会の実施について。 | 事業所内のイベント等において保護者の方にボランティアとして参加いただき、保護者同士が交流をする機会を設け、関係を深めている。 | 必要に応じて、保護者会の開催も検討していく予定です。 |
| 3 | | | |